「いま、私たちにできること」とは

農林水産業の担い手は、生業を通じて、農林水産物を生産するだけでなく、生物多様性を保全・再生し、様々な 生態系サービスを産み出す重要な役割を果たしています。

我が国の農山漁村における豊かな生物多様性を守り、その恵みを将来にわたって持続的に活かしていくためには、 農山漁村とその担い手の役割を支えるとともに、消費者の理解と行動変容の促進等を通じて、環境創造型の農林 水産業の実現を促進していくことが重要です。

この事例集では、「生物多様性を始めとした環境への配慮により、販路や資金調達につなげている」、「生産の現場と消費者とをつなげ理解を育んでいる」、「生産物や地域のブランド力を高めている」など、農林水産分野の生産現場に加え、流通・消費段階、そして様々な担い手が協力して取り組む生物多様性に関わる先行的な事例を紹介しています。

この事例集が、「いま、私たちにできること」の発見や実践のヒントとなることを願っています。

農業分野における生物多様性の取組 P3 ● カゴメ株式会社 カゴメ野菜生活ファーム富士見の畑で"生物多様性保全"に配慮した農業を開始 ● キリンホールディングス、メルシャン ぶどう畑として活用することで生物多様性が回復 株式会社オプティムアグリ・みちのく ドローン(小型無人機)を使ったピンポイント農薬散布防除サービス 森林分野における生物多様性の取組 P4 ● 株式会社 西粟倉・森の学校 環境に配慮したFSC®認証材を使い、新たな商品と販路を開拓 沖縄県庁ほか 自然環境の保全と環境に配慮した利活用を推進する「やんばる型森林業」 ● 日本製紙グループ 「環境憲章」を起点とした「生物多様性保全に関する基本方針」とその実践 水産分野における生物多様性の取組 P5 ● 宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所 ASC認証取得のカキ養殖の販路の拡大、森川里海の連携 富山湾しろえび倶楽部 プール制の導入により過度な競争・乱獲を回避し、漁獲量を安定化 **ン**ニッスイグループ 水産事業者が海を育む森を整備 流通・消費分野における生物多様性の取組 P6 コープデリ生活協同組合連合会 消費者と生態系に配慮した生産者を結ぶ佐渡トキ応援お米プロジェクト ● パナソニック株式会社 "日本初"社員食堂への「サステナブル・シーフード」の継続導入 ● 株式会社カインズ 消費者が国産FSC®認証木材を簡単に入手できる環境 **| さまざまな主体が連携した生物多様性の取組** P7 大分県臼杵市 「有機の里」でまちおこし 低農薬でつくった「ほんまもん農産物」を学校給食などで、積極活用 滋賀県 自然資源を持続的に利用する事業者を応援する「しが生物多様性取組認証制度」

生物多様性と農業技術革新の共存を図る「里山未来会議」と「ソリューション探索会議」を設置

新潟大学